

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2025No.388】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヨハネス・ Brahms

曲名：交響曲第3番ヘ長調 op. 90

演奏：ダニエーレ・ガッティ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/56324>



2025年10月12日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。

ガッティがブラームス、ストラヴィン斯基、ウェーベルンを指揮

クララ・シューマンは、ブラームスの交響曲第3番を聴いた際に「森の生命の神秘的な魔法」に感嘆したと語りました。その言葉の通り、この作品の全体にわたって自然の牧歌的な情景が音で描き出されています。ブラームスは民謡風の旋律と深遠な響きの世界を融合させました。若きウェーベルンはこの作品から着想を得て、郷愁に満ちた「弦楽四重奏のための緩徐楽章」を作曲しました。一方で、ウィーン古典派の様式をモデルとしたストラヴィン斯基の「交響曲ハ調」では、音楽の伝統が新たに解釈された形で提示されます。指揮はダニエーレ・ガッティです。

以上その他に下記が演奏されました。

アントン・ウェーベルン 弦楽四重奏のための緩徐楽章(ジェラード・シュワルツ編)

イゴール・ストラヴィン斯基 交響曲ハ調

ウェーベルンの弦楽四重奏のための緩徐楽章は、弦楽四重奏曲からの編曲のようでゆったりとしたヴァイオリン、ヴィオラ、チェロのソロを含む弦楽アンサンブルとして演奏されました。

ストラヴィンスキイの交響曲ハ調は、初めて聴く曲ですが、木管の受け渡しから始まり、終章は金管や打楽器も加わり、ストラヴィンスキイ勢いのある表情で締めくくられま

した。

Brahms の交響曲第 3 番は、お馴染みの曲で、重厚で厚みのある表情や抒情的な表情の演奏が、地味ながら構成のしっかりしたガッティの指揮のもと、展開されていきました。

LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、ウェーベルン、ストラヴィン斯基、 Brahms それぞれの曲の特徴ある表情が表っていました。



以上